

KIYOMIZU  
KYUBEY / ROKUBEY VII

生誕100年 清水九兵衛 / 六兵衛 RETROSPECTIVE

THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO

2022.7.30 SAT. - 9.25 SUN.

左から《朱頭 12》2006年 個人蔵 《WIG 10》1980年 千葉市美術館（一般財団法人草月会寄託）  
《CORRESPOND》2000年 岐阜県現代陶芸美術館  
《花陶容》1987年 東京国立近代美術館 《赤流壺》1967年 個人蔵

生誕100年 清水  
九兵衛 / 六兵衛

KIYOMIZU KYUBEY / ROKUBEY VII

RETROSPECTIVE

2022年  
7月30日/土/—9月25日/日/

京都国立近代美術館 / 岡崎公園内/  
THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO

主催 / 京都国立近代美術館、京都新聞 / 協力 / 株式会社キヨロク / 協賛 / 一般財団法人きょうと視覚文化振興財団

※会期中に一部展示替えがあります。  
開館時間 / 午前10時～午後6時 [金曜日は午後8時まで開館]  
※入館は開館の30分前まで ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
開館時間は変更となる場合があります。来館前に最新情報をご確認ください。  
休館日 / 月曜日・9月20日[火] ※ただし9月19日[月・祝]は開館

# 生誕100年 清水 九兵衛 / 六兵衛

KIYOMIZU **KYUBEY** / **ROKUBEY VII**  
RETROSPECTIVE /

生誕100年を記念して、彫刻と陶芸という二つの表現領域で活躍した清水九兵衛 / 六兵衛(1922-2006)の初めてとなる回顧展を開催します。清水は、塚本竹十郎の三男として1922年に名古屋に生まれました。幼名は廣(後に洋、裕詞)。名古屋高等工業学校建築科を繰り上げて卒業後、召集され沖縄での戦いに赴きます。復員後、東京美術学校附属工芸技術講習所ならびに同校工芸科铸金部で学び、1951年に京焼を代表する名家である六代清水六兵衛の養嗣子となり陶芸の道に進みました。1950年代から60年代にかけては、日展に出品して特選を連続して受賞するなど陶芸家としての高い評価を得る一方でクラフト作品の制作にも熱中します。

しかし陶芸家としての評価が高まるなかで、「もの」と周囲の空間に対する関心が深まり、1966年に初めて彫刻作品を発表。1968年に「九兵衛」を名乗り、陶芸制作から離れ、アルミニウムを主な素材とする彫刻家として精力的に活動していきます。その作品は、構造と素材、空間などとの親和(アフィニティ)を追求したもので、日本各地に設置された彫刻からもその創作意識を窺うことができます。

清水は、1980年の六代六兵衛の急逝を受けて七代六兵衛を襲名しましたが、陶芸作品による襲名披露展は1987年まで待たなくてはなりません。七代六兵衛としての作品は、土という素材の性質や焼成によるゆがみを意図的に用いたものであり、そこで得られた経験を、陶とアルミニウムを組み合わせた作品や最晩年の和紙やクリスタルガラスによる作品群に生かし、九兵衛 / 六兵衛としての新たな造形を示しました。

本展では、清水の九兵衛を名乗る以前の陶芸作品、九兵衛としての彫刻作品、七代六兵衛としての陶芸作品のほか、清水自身が撮影した写真作品、彫刻制作のための図面やマケットなど、約170件の作品および関連資料を通じて、立体造形作家としての生涯を回顧します。

観覧料  
/ 一般 / 1,200円(1,000円)  
/ 大学生 / 500円(400円)

◎( )内は20名以上の団体および夜間割引(金曜午後5時以降) ◎高校生以下・18歳未満は無料。◎心身に障がいのある方と付添者1名は無料\*。  
◎母子家庭・父子家庭の世帯員の方は無料\*。\*入館の際に証明できるものをご提示ください ◎本料金でコレクション展もご覧いただけます。

## 陶芸 「清水洋」から「七代清水六兵衛」へ

1950年代に清水洋の名で発表した日展受賞作や、七代清水六兵衛を襲名した1980年代以降の陶芸作品を中心に、「用を秘めた感覚」が生み出した約80点を紹介。



## 彫刻 京都の瓦屋根の造形に魅せられて

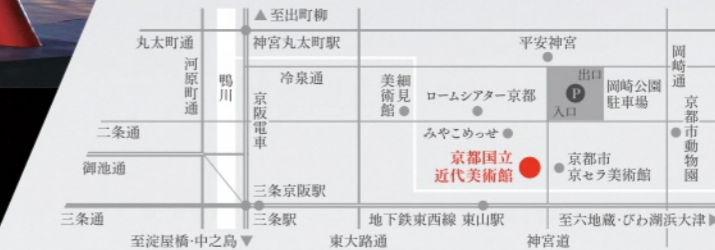
44歳の時に五東衛の名で発表した初期彫刻作品から最晩年の大型作品まで、京都の街並みにインスピレーションを得た約40年におよぶ抽象彫刻の多様な展開を回顧。



## 野外彫刻 環境との「アフィニティ(親和)」

第10回吉田五十八賞を受賞した《朱龍》(三井住友海上火災保険株式会社本店に設置)をはじめ、空間や建築との密接な関係のもとついで制作された野外彫刻の図面やマケットほか資料を多数展示。

京都国立近代美術館 / 岡崎公園内 /  
THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO  
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 TEL:075-761-4111 https://www.momak.go.jp/



関西から  
文化力  
POWER OF CULTURE



- 1.《載土客》1995年 個人蔵
- 2.《ユニット・オブ・ジュ (一輪挿し)》1956年 個人蔵
- 3.《載土客黒軸茶盤》2005年 個人蔵
- 4.《京空間 A》1994年 京都市美術館
- 5.《FIGURE 16》1988年 千葉市美術館蔵
- 6.《朱龍》1984年 三井住友海上火災保険株式会社本店 撮影:村井修 ※本展覧会では図面などの資料を展示します。
- 7.《朱甲舞》1997年 JR京都駅 ※本展覧会では図面などの資料を展示します。
- 8.《PACK 13》1997年 個人蔵

/ 講演会 /  
清水洋と九兵衛と六兵衛のあいだ  
—京焼の名家の中で—

8月20日[土] 14:00-15:30

/ 講師 / 大長智広(当館主任研究員)  
/ 会場 / 京都国立近代美術館1F講堂 定員50名(予定)、  
聴講無料。\*事前申し込み、先着順

彫刻家・清水九兵衛とアフィニティ(仮称)

9月3日[土] 14:00-15:30

/ 講師 / 森啓輔(千葉市美術館学芸員)  
/ 会場 / 京都国立近代美術館1F講堂 定員50名(予定)、聴講無料。  
\*事前申し込み、先着順

お申し込みの詳細につきましては、京都国立近代美術館ホームページをご確認ください。

/ 交通案内 /

◎京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分、「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分 ◎地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分 ※当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車施設をご利用ください。\*岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。